

15j 実務で活用するUNIX/Linuxシェルプログラミング

1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場	NISA研修室
・講師	富士通九州システムズ(FJQS) 齋藤 るり子氏
・開催月日	H30年10月10日(水)・11日(木)・12日(金)
・実施時間・日数	9:30 ~ 17:30 (7時間/日)・3日間(21時間)
・受講料(税別)	78,800円
・教材料(税別)	5,000円

2. 対象者

UNIX/Linux上でBourneシェル、Kornシェル、Bashを使用する方。またはUNIX/Linuxシステムの運用管理を担当する方。前提スキルはUNI/Linuxの基本的操作ができる方。

3. カリキュラムの概要

UNIX/Linuxの運用管理を効率よく行うには、環境作成用や運用支援用のシェルスクリプトを作成するスキルが必要です。本コースでは、先ずシェル(Bashシェル、Bourneシェル、Kornシェル)の機能を解説し、次に分岐や反復構文を持ったシェルスクリプトを作成します。また、テキストファイルを編集するsedコマンド、awkコマンドの使用方法も修得します。

4. カリキュラムの詳細

3日間(21時間)

科目	時間	科目の内容
1.シェルの概要	1.0	・ログインシェル ・シェルの種類 ・シェルの機能
2.コマンド実行の仕組み	3.0	・コマンドの種類 ・シェルスクリプトの実行過程 ・シェルが解釈する記号 (メタキャラクタ、リダイレクション、パイプ)
3.変数	2.0	・変数の定義、参照、解除 ・環境変数 ・位置パラメーター
4.環境設定ファイル	1.0	・ログインから操作開始までの流れ ・環境設定ファイル一覧 ・ドット実行
5.制御文	10.0	・シェルスクリプトで利用する制御文 ・if文 ・case文 ・for文 ・while文、unit文
6.シェルスクリプト作成のテクニック	1.0	・割り込み処理 ・シェルスクリプト内からシェルスクリプトの実行 ・関数 ・デバッグ
7.正規表現、データ加工コマンド	1.0	・正規表現 ・データ加工コマンド(sed、awk)
8.sedコマンド	1.0	・sedコマンドの基本文法 ・sedコマンドの構文
9.awkコマンド	1.0	・awkコマンドの基本文法 ・awkコマンドの構文
計	21.0Hr	

5. 使用教材

シェルの機能とプログラミング ～UNIX/Linuxの効率的使用を目指して～（富士通ラーニングメディア）
補助資料（富士通九州システムズ）

6. 到達目標

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

1. シェルの種類を理解し、Bourneシェル、Kornシェル、Bashの特徴を説明できる。

7. レベル

ITSS:ITスペシャリスト育成 - [*]要素技術【レベル: 2】

[*] ITスキル標準研修ロードマップにおけるコース群名